

平成 30 年告示高等学校学習指導要領に対応した
令和 7 年度大学入学共通テストからの出題教科・科目

歴史総合

サンプル問題

作成の趣旨

- 本サンプル問題は、平成 30 年告示高等学校学習指導要領に対応して、令和 7 年度大学入学共通テストから新たに試験科目として設定することを検討している『歴史総合，日本史探究』、『歴史総合，世界史探究』及び『地理総合，歴史総合，公共』のうち、「歴史総合」に関する試験問題について、具体的なイメージを共有するために作成・公表するものです。今後、大学入学者選抜としての適切な出題について引き続き検討することとしています。
- 本サンプル問題は、平成 30 年に改訂された高等学校学習指導要領「歴史総合」に基づいて作成したものです。
- 本サンプル問題は、具体的なイメージの共有のために作成したものであるため、以下の点に十分御留意いただきますようお願いいたします。
 - ・「歴史総合」の内容のうちの一部を出題範囲として作成したものであり、「歴史総合」の全ての内容を網羅しているものではありません。
 - ・「歴史総合」の教科書の検定中に作成した問題であるため、本サンプル問題は教科書と照合したものではありません。
 - ・『歴史総合，日本史探究』、『歴史総合，世界史探究』及び『地理総合，歴史総合，公共』の問題構成は未確定であり、今後、検討されるものであるため、本サンプル問題の構成は、実際の問題セットをイメージしたものではありません。
 - ・本サンプル問題は専門家により作成されたものですが、過去のセンター試験や大学入学共通テストと同様の問題作成や点検のプロセスを経たものではなく、また、実際の問題セットをイメージしたものや試験時間を考慮したものでもありません。令和 7 年度大学入学共通テストから『歴史総合，日本史探究』、『歴史総合，世界史探究』及び『地理総合，歴史総合，公共』が出題される際には、適切な分量と難易度のもとで問題セットが作成されることになります。
 - ・サンプル問題であるため、A 4 版で作成しています。

第1問 「歴史総合」の授業で、「東西冷戦とはどのような対立だったのか」という問いについて、資料を基に追究した。次の授業中の会話文を読み、後の問い（問1～5）に答えよ。（資料には、省略したり、現代日本語に訳すなど改めたりしたところがある。）

先生：第二次世界大戦が終わるとまもなく、冷戦の時代が始まりました。**資料1**は、冷戦の時代のヨーロッパで撮影された写真です。

山本：なぜ、「自由への跳躍」という題名が付けられているのですか。

資料1 「自由への跳躍」



先生：ここに写っているのは、ベルリンの壁が建設されている最中の1961年に、警備隊員が有刺鉄線を跳び越えて亡命しようとしている瞬間の様子で、写真の解説には、「**ア**」とあります。その後、この写真は、

②二つの体制の間の競争の中で、亡命を受け入れた側にこそ政治や思想・表現の自由があると主張するために使われて、有名になったのです。

山本：それが、写真の題名にある「⑥自由」の意味なのですね。

セナ：冷戦の時代が始まったとき、日本はどのように関係していたのですか。

先生：次の**資料2**は、冷戦の時代の初期に日本国内で出された指令です。

資料2 **イ** 等の公職からの排除に関する件（1950年9月5日閣議決定）

民主的政府の機構を破壊から防衛する目的をもって、危険分子を国家機関その他公の機関から排除するために、次の措置を講ずること。

(一) **イ** 又はその同調者で、官庁、公団、公共企業体等の機密を漏洩^{ろうえい}し、業務の正当な運営を阻害する等その秩序をみだし、又はみだす虞^{おそれ}があると認められるものは、これらの機関から排除するものとする。

セ ナ：冷戦の時代の厳しい東西対立の影は、日本にも及んでいたのですね。

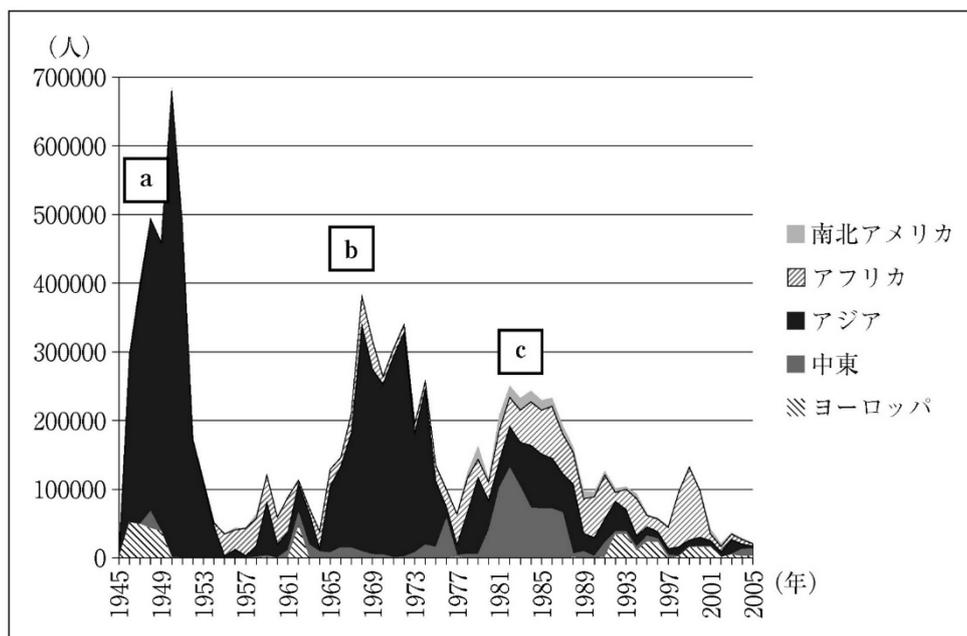
山 本：私は、矛盾を感じます。**資料1**の写真の題名は、西側陣営の宣伝の意味もあり付けられたのですが、**資料2**から読み取れるのは、冷戦の時代の初期に日本で **イ** とされた人たちの自由が制限されていたことです。

先 生：当時、日本は連合国軍総司令部（GHQ）による占領統治下がありました。占領下の政策方針は、国際情勢の変動に合わせて変化していったのです。

豊 田：気になることがあります。「冷戦」とは、実際には戦争が起こらなかったことを意味していると思いますが、㉔東西冷戦の時代には、実際の戦争は起こらなかったのですか。

先 生：**資料3**を見てください。戦争が起こらなかったのはヨーロッパだけのことであって、世界中では、冷戦の影響の下で多くの戦争が起こりました。また、東西両陣営は、軍事力だけでなく㉔経済面においても、他方に対する優位を確保しようと競い合ったのですよ。あなたたちが生まれたのは、この長い対立が終わって十数年後のことですね。

資料3 第二次世界大戦以後に国家が関与した武力紛争による地域別の死者数



(Peace Research Institute Oslo, The Battle Deaths Dataset version 2.0, Yearly Total Battle Deaths より作成)

問 1 会話文中の空欄 **ア** に入れる文あ・いと，冷戦の時代の初期におけるヨーロッパでの下線部⑥の対立を表した図 I・II との組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。

ア に入れる文

あ 西ドイツの警備隊員が東ベルリンへ亡命した

い 東ドイツの警備隊員が西ベルリンへ亡命した

対立を表した図 (■ と ■ に分かれて対立)

I



II



- ① あ — I ② あ — II ③ い — I ④ い — II

問 2 下線部⑥について，山本さんは，「自由」が歴史上様々な意味で使われていることに興味を持ち，次の資料 4～資料 7 で使われている「自由」の意味の解釈を試みた。資料の解釈について述べた文として**適当でないもの**を，後の①～④のうちから一つ選べ。

資料 4 ある運動の指導者がデモ参加者に向けて行った 1963 年の演説

私には夢がある，ジョージアの赤土の丘の上で，かつての奴隷の子孫たちとかつての奴隷主の子孫たちが，友愛に固く結ばれて一つのテーブルを囲む，そんな日が来るという夢が。(略) **自由**の鐘を鳴り響かせることができたとき，(略) 神が創り給うた子供たち全てが (略) 手と手を取り合う日が訪れるのを早めることができるのです。

資料 5 1911 年発刊の文芸雑誌の創刊号に発表された文章

元始、女性は太陽であった。真正の人であった。今、女性は月である。(略)
自由解放! 女性の**自由解放**という声はずいぶん久しい前から私たちの耳もとにざわめいている。(略) それでは私の願う真の**自由解放**とは何だろう。言うまでもなく、潜んでいる天賦の才を、偉大な潜在能力を、十二分に発揮させることにほかならない。

資料 6 ある議会で 1789 年に採択された宣言

国民議会を構成するフランス人民の代表者たちは、(略) 人間の持つ譲渡不可能かつ神聖な自然権を荘重な宣言によって提示することを決意した。(略)
第一条 人間は**自由**で権利において平等なものとして生まれ、かつ生き続ける。

資料 7 ある政治結社の指導者が行った 1942 年の演説

(略) 私はどこに向かったらいいのか、そして 4 億のインド人をどこに導いたらいいのか。(略) もし彼らの目に輝きをもたらされるとすれば、**自由**は明日ではなく今日来なければならない。それゆえ私は「行動か死か」を会議派に誓い、会議派は自らにそれを誓った。

- ① 「自由」を、主に一党独裁体制の打倒という意味で使っていると考えられる資料がある。
- ② 「自由」を、主に人種差別の撤廃という意味で使っていると考えられる資料がある。
- ③ 「自由」を、主に性差別の克服という意味で使っていると考えられる資料がある。
- ④ 「自由」を、主に植民地支配からの独立という意味で使っていると考えられる資料がある。

問 3 会話文中と資料 2 の空欄 **イ** に入れる語う・えと、資料 2 の指令が出された背景として**適当でない**と考えられる出来事 A～D との組合せとして正しいものを、後の①～⑧のうちから一つ選べ。

イ に入れる語

う 国家主義者 え 共産主義者

背景として**適当でない**と考えられる出来事

A コミンフォルムの結成 B 中華人民共和国の成立
C 日韓基本条約の締結 D ソ連の核兵器保有

① う — A ② う — B ③ う — C ④ う — D
⑤ え — A ⑥ え — B ⑦ え — C ⑧ え — D

問 4 下線部㉔の疑問を持った豊田さんは、先生が示した**資料 3**を基に追究し、分かったことを次の**メモ**にまとめた。**メモ**中の空欄 **ウ** に入れる語句**お～き**と、空欄 **エ** に入れる文 **X・Y**との組合せとして正しいものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

メモ

資料 3中、**ウ** における死者数の多くは、ある地域の紛争に対し、アメリカ合衆国が北爆によって本格的な軍事介入を始めた戦争によるものと思われる。この戦争で、米ソは直接衝突していない。また、この戦争は日本にも影響を及ぼし、**エ** 。

ウ に入れる語句

お aの時期のアジア **か** bの時期のアジア **き** cの時期の中東

エ に入れる文

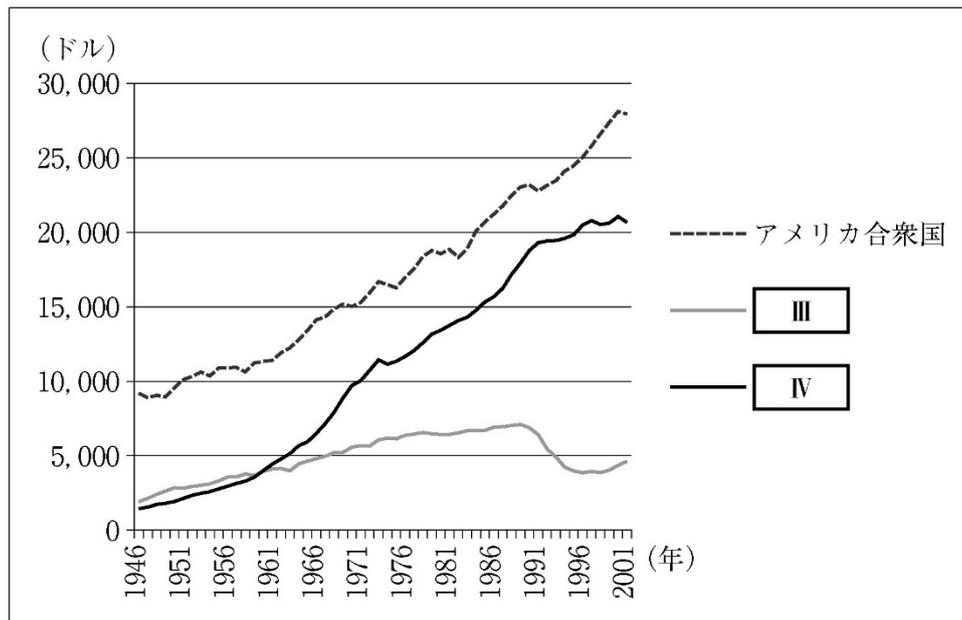
X 国内でこの戦争に反対する運動が広がる一方、米軍基地の継続使用を条件として、沖縄の施政権がアメリカ合衆国から返還された

Y 国際貢献に対する国内外の議論の高まりを受けて、国連平和維持活動等協力法（PKO 協力法）が成立した

- | | | | | | |
|---|-------|-------|---|-------|-------|
| ① | ウ — お | エ — X | ② | ウ — お | エ — Y |
| ③ | ウ — か | エ — X | ④ | ウ — か | エ — Y |
| ⑤ | ウ — き | エ — X | ⑥ | ウ — き | エ — Y |

問 5 下線部①に関連して，東西両陣営の経済力について表した次の資料 8 は，アメリカ合衆国，ソ連・ロシア，日本のそれぞれの国の一人当たり GDP を示したものである。資料 8 のグラフに該当する国について述べた文として最も適切なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。

資料 8 3 国の一人当たり GDP



(Angus Maddison, *The World Economy* (Academic Foundation, 2007), Volume 2 より作成)

- ① Ⅲのグラフにおける 1990 年代前半の急激な下降は，バブル経済の崩壊によるものと考えられるので，Ⅲは日本である。
- ② Ⅲのグラフにおける 1990 年代の急激な下降と緩やかな上昇は，天安門事件に対する経済制裁と改革開放政策の推進によるものと考えられるので，Ⅲはソ連・ロシアである。
- ③ Ⅳのグラフにおける 1950 年代後半から 1970 年代前半にかけての著しい上昇は，高度成長期に相当すると考えられるので，Ⅳは日本である。
- ④ Ⅳのグラフにおける 1950 年代以降の上昇は，アメリカ合衆国との競合の過程に相当し，1990 年代前半の上昇の鈍化は，体制の崩壊によるものと考えられるので，Ⅳはソ連・ロシアである。

第2問 「歴史総合」の授業で、世界の諸地域における近代化の過程について、ある主題を設定して、資料を基に追究した。次の文章A・Bを読み、後の問い（問1～6）に答えよ。（資料には、省略したり、現代日本語に訳すなど改めたりしたところがある。）

A 最初の授業では、アジアにおける憲法の制定に着目し、次の二つの資料を踏まえて主題を追究した。

資料1 オスマン帝国憲法（ミドハト憲法）

- 第4条 **ア** 陛下はカリフ位によりイスラーム教の守護者であり、全臣民の元首にして **ア** である。
- 第8条 オスマン国籍を有する者は全て、いかなる宗教及び宗派に属していても、例外なくオスマン人と称される。
- 第11条 帝国の国教はイスラーム教である。この原則を遵守し、かつ人民の安全または公共良俗を侵さない限り、帝国領において認められているあらゆる宗教行為の自由、及び諸々の宗派共同体に与えられてきた宗教的特権の従来通りの行使は、国家の保障の下にある。
- 第113条 国土の一部で混乱が生じることが確実な証拠や徴候が認められる場合、政府はその地域に限り臨時に戒厳を布告する権利を有する。（略）
国家の安全を侵害したことが、（略）明らかになった者を神護の帝国領から追放し、退去させることはただ **ア** 陛下のみが行行使することのできる権限である。

資料2 大日本帝国憲法

- 第1条 大日本帝国は万世一系の天皇が統治する。
- 第3条 天皇は神聖であり、侵してはならない。
- 第7条 天皇は帝国議会を召集し、開会・閉会・停会及び衆議院の解散を命じる。
- 第11条 天皇は陸海軍を統帥する。
- 第14条 天皇は戒厳を布告する。

- 問 1** 井上さんは、二つの憲法を比較して、どちらも君主の大権が強いことに気がつき、その規定が関係した歴史上の出来事を調べて、次の**カード 1** にまとめた。
- 資料 1** 及び**カード 1** 中の空欄 **ア** ~ **ウ** に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、後の①~⑥のうちから一つ選べ。

カード 1

オスマン帝国

資料 1 の憲法制定の中心となったミドハト=パシャは、**ア** によって第 113 条の規定を理由として追放され、憲法も、ロシアとの戦争をきっかけに停止された。

日 本

ロンドンで開かれた国際会議で **イ** ことが、**資料 2** の **ウ** で規定された天皇の大権を侵すものだとする批判が起こり、首相が狙撃される事件のきっかけとなった。

- | | |
|-------------------|---------------------------------|
| ① ア — 教皇 | イ — 国際紛争解決の手段としての戦争を否定した |
| ウ — 第 7 条 | |
| ② ア — スルタン | イ — 国際紛争解決の手段としての戦争を否定した |
| ウ — 第 14 条 | |
| ③ ア — ツァーリ | イ — 勅許を得ないまま通商を取り決めた |
| ウ — 第 14 条 | |
| ④ ア — 教皇 | イ — 勅許を得ないまま通商を取り決めた |
| ウ — 第 11 条 | |
| ⑤ ア — スルタン | イ — 政府が兵力量を取り決めた |
| ウ — 第 11 条 | |
| ⑥ ア — ツァーリ | イ — 政府が兵力量を取り決めた |
| ウ — 第 7 条 | |

問 2 水谷さんは、資料 1 と資料 2 が制定された経緯を調べ、共通の背景と個別の事情を次のカード 2 にまとめた。カード 2 中の空欄 **エ** ～ **カ** に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

カード 2

憲法制定の共通の背景

どちらも **エ** ため、欧米型の政治体制を整える必要に迫られていた。

憲法制定の個別の事情

- ・オスマン帝国は、**オ** から議会制の立憲国家に変わること、領内の非ムスリムをつなぎ止め、国民として位置付けようとした。
- ・日本が立憲国家・議会政治の道に進んでいったことの国内的な背景には、幕末以来、**カ** 公議政体の考え方が国内で広く唱えられていたことが挙げられる。

- ① **エ** — 欧米列強の政治的圧力や経済的進出に対抗する
オ — イスラームの規範に基づく国家
カ — 広く意見を集めて政治を行うべきとする
- ② **エ** — 欧米列強の政治的圧力や経済的進出に対抗する
オ — 政教分離に基づく世俗国家
カ — 翼賛体制で挙国一致を目指す
- ③ **エ** — 社会主義思想に基づく革命運動を抑える
オ — 政教分離に基づく世俗国家
カ — 広く意見を集めて政治を行うべきとする
- ④ **エ** — 社会主義思想に基づく革命運動を抑える
オ — イスラームの規範に基づく国家
カ — 翼賛体制で挙国一致を目指す

問 3 本多さんは、資料 1・資料 2 の分析を深めるために、近代にアジアでつくられた他の憲法の資料を探し、清でつくられた憲法原案である資料 3 の「欽定憲法大綱」を見つけて、カード 3 にまとめた。カード 3 中の空欄 **キ** に当てはまる文として最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

資料 3 清の欽定憲法大綱（1908 年）

- 一 皇帝は帝国を統治し、万世一系であって、永遠に尊び推戴される。
- 二 皇帝は神聖にして尊厳であり、侵してはならない。
- 四 皇帝は議院を召集・開閉会・停止・延長及び解散する権限を持つ。
- 六 皇帝は陸海軍を統率し、軍制を編定する権限を持つ。

カード 3

資料 3 と資料 1・資料 2 との比較

- ・資料 1 との比較：資料 3 には宗教についての規定は見られない。
- ・資料 2 との比較：資料 3 と共通する内容や表現が非常に多い。

資料 3 の特徴やつくられた経緯についての考察

キ。

- ① 資料 1 と違って宗教についての規定がないのは、文化大革命によって伝統的な文化や宗教が批判されたことが反映していると考えられる
- ② 太平天国の鎮圧に当たった有力官僚が軍備や工業に西洋の技術を導入する改革を行う過程で、資料 1 を手本としてつくったものと考えられる
- ③ 資料 2 を制定する際の参考にするために、伊藤博文らが訪問して内容を調査した憲法に当たると考えられる
- ④ 日露戦争で日本が専制体制のロシアに勝利したことに刺激されて、資料 2 を参考にしてつくったと考えられる

B 次の授業では、いくつかのグループに分かれて、さらに主題を追究した。そのうち二つのグループは、近代の教育制度に着目した。

問 4 後藤さんのグループでは、教育の目的について、次の**資料 4・資料 5**を取り上げて、ドイツと日本の事情について考察した。下線部④の指している**ドイツの事例**として適当なもの**あ・い**と、下線部⑤の指している**日本の事例**として適当なもの**う・え**と、**二つの資料に共通する意図**として適当なもの **a・b** との組合せとして正しいものを、後の①～⑧のうちから一つ選べ。

資料 4 フィヒテ『ドイツ国民に告ぐ』（1807～1808年）

（略）国家が国民教育を行えば、これが唯一の出費になるということを国家に確信させなければならない。（略）今まで、国家の収入の大半は常備軍の維持に費やされている。④この常備軍への出費の結果については既に見てきた。これでもう十分であろう。（略）これに対して、私たちが提案している国民教育を広く導入したならば、若者の世代が成長して教育を終了した瞬間から、国家は、特別な軍隊を全く必要としなくなり、今までにないような軍隊を持つことになるだろう。（略）さらに、国家が適切に労働者階級を助けることができれば、彼らは国家のことを即座に理解し、その指示を感謝を持って受け入れるのである。

資料 5 森有礼の閣議提案（1887 年）

（略）今、国の品位をして進んで列国と肩を並べ永遠の偉業を固めようと欲すれば、国民の志気を培養発達するを以てその根本となさざるを得ない、これすなわち教育一定の標準ではないか、（略）顧みるに欧米の人民上下となく男女となく一国の国民は、各々一国を愛するの精神を存し、団結して解くことができない、（略）願わくば⑥忠君愛国の意を全国に普及せしめ、一般教育の標準を達し、（略）そうすれば国の基礎を強固にし国勢を維持することに役立つところが多い。

ドイツの事例

- あ ヴェルサイユ条約による軍備の制限
- い ナポレオン戦争におけるプロイセンの敗北

日本の事例

- う 新体制運動の推進
- え 教育勅語の発布

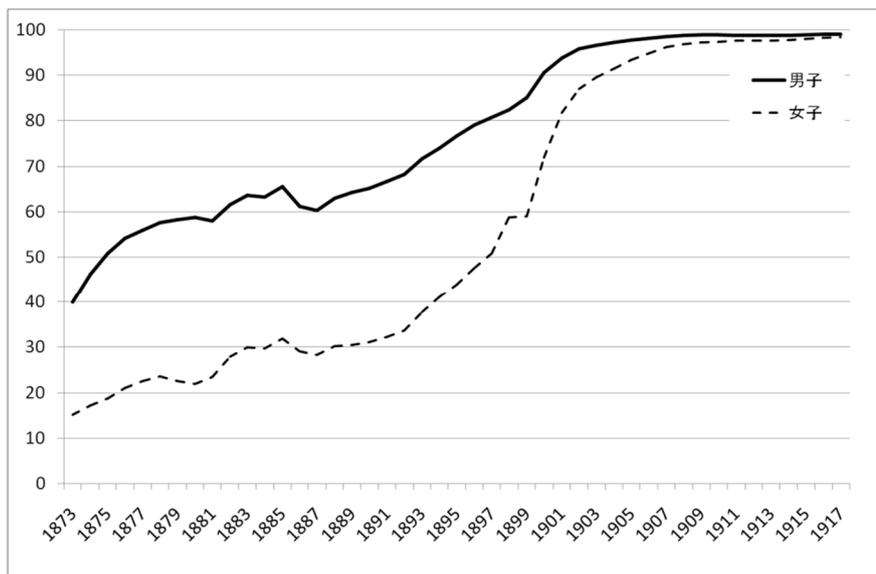
二つの資料に共通する意図

- a 国民に教育を行き渡らせることで、国力を高めようと考えている。
- b 教育を通して近隣諸国への理解を深め、国際協調を実現しようとしている。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
ドイツの事例	あ	あ	あ	あ	い	い	い	い
日本の事例	う	え	う	え	う	え	う	え
二つの資料に共通する意図	a	b	b	a	a	b	b	a

問 5 リンさんのグループでは、次の**資料 6・資料 7**を参考にして日本の義務教育制度の普及について考察し、これまでの学習内容も踏まえて**パネル**にまとめた。3人の**パネル**の正誤について述べた文として最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

資料 6 小学校における児童の就学率の変遷



(『日本近代教育百年史』より作成)

資料 7 学制 (「学事奨励に関する被仰出書」) (1872 年)

(略) 行いや人格を正しくして、知識を広げ、才能や技芸を伸ばすことは、学問によらなければ不可能なことである。これが学校が設置されている理由であって、(略) 今から以後は、一般の人民は華族・士族・卒族・農民・職人・商人及び女性や子供の別なく、必ず村に学ばない家が一軒もなく、家には学ばない人が一人もいないようにしようとするのである。人の父兄である者は、この趣旨を十分認識し、その子弟を慈しみ育てる情を厚くし、子弟を必ず学校に通わせるようにしなければならない。

リンさんのパネル

1890年代に女子の就学率が急激に上昇している背景には、欧米の多くの国で女性に選挙権が与えられるようになり、日本でも、**資料7**でうたわれている目的が人々に受容されるようになったことがあったと考えられる。

一条さんのパネル

女子の就学率が常に男子よりも低い背景には、**資料7**にあるように、政府が女子への教育は不要であると考えていたことが影響したと考えられる。

早瀬さんのパネル

1910年頃に**資料7**の目的がほぼ達成された背景の一つとして、日清戦争後の近代産業の発展により国民生活が向上したことがあったと考えられる。

- ① リンさんのパネルのみ正しい。
- ② 一条さんのパネルのみ正しい。
- ③ 早瀬さんのパネルのみ正しい。
- ④ 全員のパネルが正しい。

問 6 問 1～問 5 でみた考察の内容から、この 2 回の授業で追究した主題として最も適当なもの I・II と、その主題をさらに追究するための資料として最も適当なもの i～iii との組合せとして正しいものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

授業で追究した主題

- I 国民国家の形成の過程において、どのような施策が採られただろうか。
- II 大量消費社会が形成されるために必要な要素として、どのようなものがあるだろうか。

その主題をさらに追究するための資料

- i 国際的経済機構の加入国数を示した統計
- ii 国籍の資格を定めた法律の条文
- iii ラジオ・テレビの普及率を示すグラフ

① I— i

② I— ii

③ I— iii

④ II— i

⑤ II— ii

⑥ II— iii